

組込み開発者必須！国際標準モデリング言語 SysML の講座実施

～国際標準化団体 OMG 及び MS 社と協力した日本初の講座～

産業技術大学院大学（学長 石島辰太郎）は、平成 22 年度から産学連携の取組として、UML 教育研究所及びマイクロソフト社との連携講座を開始した。

本講座は、UML 教育研究所が国際標準化団体 OMG と協力して行う、SysML や OCUP（OMG Certified UML Professional）ファンダメンタル資格試験合格水準の日本初の講座であり、講師にはこの分野における第一人者を UML 教育研究所及びマイクロソフト社から招き、産業技術大学院大学の正規の授業科目として取り入れ実施するものである。

【実施時期】

平成 22 年度開講

【担当教員】

山本哲也（UML 教育研究所）、太田寛（マイクロソフト社）、川田誠一（産業技術大学院大学）

【授業方針】

受講者は、UML 教育研究所が制定したスキル・モデルに基づき、OCUP（OMG Certified UML Professional）資格試験のファンダメンタルのレベルをカバーした授業水準の講義を受講し、最新のモデリング言語である SysML について学ぶ。

また、マイクロソフト社の最新開発ツール（Visual Studio 2010）と最新プラットフォーム（Windows 7）を用い医療機器（脳波計）の設計制作を通じて、実装面でのモデリング技法、プログラミング技術の基礎を学ぶ。

コース終了後、OCUP ファンダメンタル資格試験を受験し、その成績を評価基準の一部とする。

※公表

UML 教育研究所、マイクロソフト社及び本学それぞれがプレス発表する。

お問い合わせ先 産業技術大学院大学管理課

TEL：03-3472-7831

【別紙】

◆国際標準化団体 OMG (Object Management Group)

国際標準化団体 OMG は、ソフトウェアの設計・開発から運用・維持までをカバーする相互運用性標準を、現在および将来のプラットフォームに対して提供する国際的コンソーシアム。1989年の創立で、全世界 600 あまりの企業、政府機関、大学等がメンバーとして参加している（日本では約 50 社）。本部をマサチューセッツ州ニーダムに置き、国際的なマーケティングオフィスを、日本、英国、ドイツ、インドなどに置いている。

◆SysML

SysML は、OMG (Object Management Group) によって公開されている、ハードウェア、ソフトウェア、情報、人、手続、設備を含む複雑なシステムを定義、分析、設計および検証するための汎用的な図式モデリング言語。

◆OCUP (OMG 認定 UML 技術者資格試験プログラム)

OCUP は、汎用モデリング言語の世界標準である UML の概念と利用方法に関する知識を統一された基準で認定する目的で、標準化団体である OMG によって制定されたプログラム。UML の最新仕様である「UML2.0」に準拠し、基本的に読み書き能力にフォーカスしている。現在、世界 130 カ国以上で受験可能なワールドワイドの資格プログラムで、日本およびインド、オセアニアを含むアジア全域においては、(株)UML 教育研究所がプログラムの運営と普及促進にあたっている。